

認定スクールトレーナーによる小中学校での指導・教育活動



中野区立中野中学校

～ 東京都中野区の事例～



研修会名	スクールトレーナー健康教室
目的	成長期の体の変化と骨の成長にともなって体が固くなること、そのために生じる成長期のけがを理解する。また、姿勢の確認と不良姿勢を改善する運動やストレッチングの実技指導を受け、けがの予防や回復を早める術を身につける。
日 時	令和7年2月13日（木）3・4校時 10時45分～12時35分（110分間）
場 所	1・2年生 体育館 3年生 柔剣道場
講 師	総合東京病院リハビリテーション科 / 知野俊文医師及び杉山春美他理学療法士5名、認定スクールトレーナー鈴木享之他3名
対 象	全校生徒 約400名 ※ジャージ登校・ジャージ生活 1年生 33名 4クラス 2年生 35名 4クラス 3年生 40名 4クラス

認定スクールトレーナー(ScT)
活動の連携トライアングル
～ 東京都中野区の事例～



A



公益財団法人
運動器の健康
・日本協会

武藤業務執行理事：全体の調整
鈴木享之ScT、他2名のScT
：講義・実技指導
板倉尚子ScT：学校側との連絡調整

学校

中野区立
中野中学校



校長、副校長（実施要項の作成）
主幹教諭・指導教諭 / 保健体育
全校生徒392名（1・2・3年生）

B



南東北グループ
総合東京病院

渡邊貞義院長
原島宏明リハビリテーション科長

医師（1名）・理学療法士6名の派遣

C



東京都中野区
中野区教育委員会

担当指導主事（保健体育）

学校との連絡・調整
実施要項の作成
講師謝金の手配
講師委嘱状の発出